

杉並区における東京 2020 オリンピック・  
パラリンピック競技大会に向けた懇談会の取組  
第3期（最終期） まとめ

令和3年12月

杉並区における東京 2020 オリンピック・  
パラリンピック競技大会に向けた懇談会

## 目次

1	区民懇談会（第3期）の開始まで.....	1
2	第3期の取組（2021年1月から12月まで） .....	1
3	各実行委員会が掲げた大会遺産（レガシー）と具体的な行動.....	2
4	懇談会開催実績 .....	2
5	杉並区における東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた懇談会委員 名簿（令和3年12月現在） .....	4

## 1 区民懇談会（第3期）の開始まで

2016年9月より2018年8月まで、計8回に渡り会合を重ねてきた区民懇談会であるが、委員の任期は2年間となっており、2018年8月31日に更新を迎えた。

再委嘱にあたり、新たな公募は行わず、現委員の再任を基本として依頼を行った結果、再任18名、団体推薦による変更8名、辞退4名の回答があり、2018年10月の第10回区民懇談会において、2020年12月までを任期として26名に委員の委嘱を依頼した。

その後、2020年3月に、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会（以下、「大会」という）が1年延期され、委員の任期についても、大会に準じて1年延期し2021年12月までとし、2020年12月に改めて再委嘱に関する依頼を行った。

前回同様、新たな公募は行わず現委員の再任を基本として通知を行った結果、1名から辞退の回答があり、計25名の委員で第3期を迎えることとなった。

## 2 第3期の取組（2021年1月から12月まで）

2021年は、年明け早々に緊急事態宣言が発出され、解除後も、まん延防止等重点措置が適用されるなど、新型コロナウイルス感染症の影響が続き、7月に発出された4度目の緊急事態宣言（2021年としては3度目）の際には、大会の無観客開催、都内聖火リレーの公道走行中止が決定された。

これを受けて、区内で事前キャンプを行う予定であったイタリア（ビーチバレーボール）及びパキスタン（陸上・水泳・射撃）から、杉並での事前キャンプを取り止め、直接、選手村に入村すると連絡があった。一方で、ウズベキスタン（ボクシング）は、7月5日～22日に高円寺体育館で、イタリア（カヌースプリント）は、7月27日～31日に永福体育館で事前キャンプを行った。

おもてなし・地域活性・こどもの各実行委員会は、この事前キャンプ期間に活動を絞り、おもてなし事業実行委員会は「選手団に向けた江戸手妻・東京高円寺阿波おどりの披露」、地域活性事業実行委員会は「選手団へのすぎばん贈呈」、こども事業実行委員会は「区役所でのホストタウン紹介展」を実施した。スポーツ事業実行委員会は、すぎなみフェスタへの出展を予定していたが、フェスタが中止となったため、12月に旧杉並第四小学校でクリケットの体験教室を実施した。

また、緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置の発出により、開催を延期してきた懇談会であるが、10月1日からの解除を受け、12月3日に第17回懇談会を開催。これまでの活動について総括した後、懇談会の解散を宣言した。

\*\*\*\*\*

※緊急事態宣言期間：2021年1月7日から3月21日、4月25日から6月20日、7月12日から9月30日。

※まん延防止等重点措置期間：2021年4月4日から24日、6月21日から7月11日。

### 3 各実行委員会が掲げた大会遺産（レガシー）と具体的な行動

- ① スポーツ「国籍を問わず、街中でスポーツを通じた交流ができる環境づくり」
  - ➡クリケットの普及啓発（区立施設、区内小学校、すぎなみフェスタ）
  - ➡卓球台を活用したスポーツを通しての商店街とのコラボレーション
- ② バリア「みんなが自然にバリアを取り除く行動ができる（心のバリアフリーの実現）」
  - ➡パラリンピック競技の普及啓発（ノーリミッツチャレンジの実施など）
  - ➡区立施設においてパラアスリートによる講演会や義足体験会を実施
- ③ 地域活性「地域の人々の杉並愛を高め、外国の方々も杉並を好きになっている」
  - ➡杉並の新しいおみやげ「すぎばん」の製作・販売
- ④ こども「子どもたちが世界を知り、日本を知り、杉並を知り、小・中学生たちの交流が盛んになっている」
  - ➡かるた及びオリパラソルによる子ども向け体験事業の実施（すぎなみフェスタ）
  - ➡こども向けボッチャ体験教室の実施（すぎなみフェスタ）
- ⑤ おもてなし「事前キャンプに訪れる選手を区民が中心となりおもてなしする」
  - ➡事前キャンプ期間中における江戸手妻及び東京高円寺阿波おどりを活用した交流事業を実施

### 4 懇談会開催実績

平成 28 年度

回数	開催日	主な議事
第 1 回	9 月 3 日	委員委嘱 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とした杉並区のあるべき姿について 1
第 2 回	10 月 15 日	東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とした杉並区のあるべき姿について 2
第 3 回	12 月 3 日	アイディア（イメージ）の具体化と共有
第 4 回	1 月 26 日	「2020 年でのすぎなみの姿」を実現するためのプロジェクトの具体化 1
第 5 回	3 月 23 日	「2020 年でのすぎなみの姿」を実現するためのプロジェクトの具体化 2

平成 29 年度

第 6 回	6 月 29 日	目指す大会遺産（レガシー）の設定
第 7 回	1 月 23 日	「地域活性」「スポーツ」「こども」各実行委員会の事業報告 1
第 8 回	3 月 27 日	「スポーツ」「地域活性」「こども」各実行委員会の事業報告 2（まとめ）

平成 30 年度

回数	開催日	主な議事
第 9 回	8 月 17 日	「スポーツ」「地域活性」「こども」グループの取組内容に対する現状報告
第 10 回	10 月 22 日	委嘱式 すぎなみ版ボランティアについて 1
第 11 回	12 月 19 日	すぎなみ版ボランティアについて 2
第 12 回	2 月 4 日	すぎなみ版ボランティアについて (まとめ)

平成 31 年度 (令和元年度)

第 13 回	9 月 19 日	ボランティアの登録状況と活動報告 聖火リレーについて
第 14 回	3 月 19 日	平成 31 年度の活動報告 (総括) ※郵送による通知のみ。

令和 2 年度

第 15 回	7 月 10 日	大会の延期について 区が目指す大会後のレガシーについて 第一期の活動報告及び委員紹介 ※郵送による通知のみ。
第 16 回	12 月 21 日	東京 2020 大会関連事業に係る区の取組経過について 再委嘱に関するお願い ※郵送による通知のみ。

令和 3 年度

第 17 回	12 月 3 日	東京 2020 大会における懇談会の活動について (総括)
--------	----------	-------------------------------

**5 杉並区における東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた  
懇談会委員名簿（令和3年12月現在）**

No.	氏名	区分（推薦団体・役職等）
1	今村 富美枝	杉並区町会連合会
2	庄司 玉緒	杉並区商店会連合会
3	上原 正	杉並区商店会連合会
4	菅原 敬介	東京商工会議所杉並支部 建設分科会
5	飯田 和憲	東京商工会議所杉並支部
6	大場 淳一	東京商工会議所杉並支部 建設分科会
7	加藤 尚志	杉並産業協会
8	森屋 洋一	東京青年会議所杉並区委員会
9	服部 洋	杉並区文化団体連合会
10	板倉 徳枝	杉並区交流協会
11	高橋 博	杉並区障害者団体連合会
12	村松 理恵	杉並区立小学校PTA連合協議会
13	佐久間 ゆかり	杉並区立中学校PTA協議会
14	栢尾 秀治	杉並区体育協会
15	西島 肇	杉並区スポーツ推進委員
16	伊藤 歩	杉並区青少年委員協議会
17	松原 隆一郎	東京大学大学院総合文化研究科
18	結城 加奈子	区民（スポーツ経験者）
19	高田 朋枝	区民（障害者スポーツ経験者）
20	松原 弘和	区民（一般公募）
21	近藤 眞司	区民（一般公募）
22	河野 瑠瑠	区民（一般公募）
23	綿野 知洋	区民（一般公募）
24	プラディップ タパ	区民（一般公募）
25	谷 浩明	広報専門監
26	山ノ内 凜太郎	ファシリテーター
27	米元 洋次	ファシリテーター



▲スポーツ（クリケットの普及）



▲スポーツ（卓球台の活用）



▲地域活性（ワークショップ）



▲地域活性（すぎぱん）



▲こども（オリパラソル）



▲こども（ボッチャ体験）



▲おもてなし（江戸手妻）



▲おもてなし（高円寺阿波おどり）



## 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に係るアンケート集計

## 1. 今回の東京 2020 大会を総括して（選択肢に○を付けてください）

- ①とてもよかった    ②よかった    ③あまりよくなかった  
④よくなかった    ⑤わからない

## 【回答】

① 3	② 1 2	③ 0	④ 0	⑤ 1
-----	-------	-----	-----	-----

## 【自由記入欄】

- ・無観客という事が残念でした。
- ・オリンピックと地域の交流機会が無くなった事が残念でした。
- ・コロナ禍みなさんが不安の中、たくさんの方々の努力・ご協力のおかげで大会が行われたことは、元アスリートとして本当に感謝の気持ちでいっぱいです。スポーツの良さが伝わった一方で、いまだ大変である医療従事者には、申し訳ない気持ちを伝えたいです。学校行事が中止となり、子供たちの成長の場が失われている中、何故特別に？と思う方々がたくさんいるのも理解しており、先日もやらせていただきました「親子イベント」等やらせてもらえたらうれしいです。
- ・コロナ禍もかかわらず、大きな事故もなく、一部の小学校ではパラリンピックを観戦することができた。夏の暑さを考えると、無観客という判断は適切だった。
- ・無観客は残念だったが、ニューススタイルでこれからの各種大会の指針になったと思う。
- ・コロナ禍中、最善を尽くされたと思う。
- ・大会全体を通して、やって良かったのかどうかは分からない。大会直前までのゴタゴタ、大会中でも色々な問題が報道されて、オリ・パラをやる、やっているという気持ちにはなれなかった。
- ・とにかく実施できたことがよかったです。
- ・コロナ禍より、委縮した大会になってしまったのは仕方ない事だ。10何年か後に再度フルスペックの東京大会を開催出来る様、IOCに申し出るよう期待している。
- ・コロナ禍先ず開催出来てよかった、という思いが強く感じられた。
- ・無観客になったのは残念。オリ・パラはやれて良かった、選手たちの努力が報われたと思う。楽しみにしていた一つの開会式はひどかった。聖火リレーも中止のなったのは残念だ。
- ・開閉式は色々な問題で何とも言えないのですが、大会のために一生懸命に努力した方々に感謝しております。
- ・コロナ禍の中での催であったが「スポーツの力」と「スポーツの意義」を再発見でき良かったと思う。





- ・スポーツ：街中でスポーツ関連するイベント・交流を見かけたことがない。大きい大会後（ワールドカップサッカーなど）夢中に遊ぶ子供達が増えるのですが、そんな様子も見かけない。  
子ども：パラリンピックを観戦できる！→中止になり、興味があったご家庭・お子様にはより残念な気持ちになってしまった。「世界から見た日本」として、海外選手が発信した良さを学ぶ機会を設けたいと感じる。
- ・コロナ流行により行動制限がかかり、安全確保が難しかった。
- ・何せ来日客が少なかった。テレビ等ではできたかもしれないが。
- ・コロナの影響により、目指すレガシーを変えないといけない部分もあったのではない。レガシーが創出できたかどうか、時期尚早の判断だと思う。
- ・やはり無観客、コロナとの戦いのためでしょうか。
- ・ウズベキスタン、パキスタンとのホストタウン交流宣言は大きなレガシーとなった。パキスタン海外交流セミナーでは魅力が大いに伝わった。児童による応援画像は大きなおもてなしとなり、座高円寺にて阿波踊りをお見せすることができたのは本当に良かったと思います。
- ・無観客、接触なしでは、行動できない。TVを通じての啓蒙のみとなり、区としては発信が足りなく出来ていないに等しいと思った。
- ・「スポーツ」テーマに係っているが、レガシーを創出するために様々な人と新しいつながりを持つことができた。このつながりを大切に、無形のレガシーを少しずつ形にしていきたい。

5. 各実行委員会の取組について（スポーツ）（選択肢に○を付けて下さい）

例) クリケット大会の開催、すぎなみフェスタにてクリケットドームを出店

- ①とてもよかった ②よかった ③あまりよくなかった ④よくなかった  
⑤わからない

【回答】

① 1	② 4	③ 1	④ 0	⑤ 8
-----	-----	-----	-----	-----

6. 各実行委員会の取組について（子ども）（選択肢に○を付けて下さい）

例) 子ども向けワークショップ開催、すぎなみフェスタでのワークショップ実施

- ①とてもよかった ②よかった ③あまりよくなかった ④よくなかった  
⑤わからない

【回答】

① 0	② 5	③ 1	④ 0	⑤ 8
-----	-----	-----	-----	-----

7. 各実行委員会の取組について（地域活性）（選択肢に○を付けて下さい）

例) 杉並独自のお土産「すぎばん」の開発

- ①とてもよかった ②よかった ③あまりよくなかった ④よくなかった  
⑤わからない

【回答】

① 2	② 6	③ 0	④ 0	⑤ 7
-----	-----	-----	-----	-----

8. 各実行委員会の取組について（おもてなし）（選択肢に○を付けて下さい）

例) ウズベキスタンボクシング選手団に向けた日本文化の紹介（江戸手妻、阿波おどり公演）

- ①とてもよかった ②よかった ③あまりよくなかった ④よくなかった  
⑤わからない

【回答】

① 3	② 7	③ 0	④ 0	⑤ 5
-----	-----	-----	-----	-----

9. 各実行委員会の取組について感想をお聞かせください

- ・アイデアを形にした挑戦をする取組から、特に主体者となった私達が最もレガシーを感じたと思います。今後は、そのレガシーを活用した地域振興を目指した継続的な活動が求められると思います。
- ・活動やイベント等に参加しておらず、お答えできないのですが、ここからさらによりよい杉並になると思うので、引き続きがんばってください。
- ・みなさんの熱意が感じられて、とてもすばらしいなと思いました。コロナ禍ではなかったら、もっとたくさんの方に周知していただけたのかなと思います。おつかれ様でした。
- ・コロナで残念だった。
- ・どの実行委員会も頑張っていたと思う。各実行委員会が今、何をやっていてこれから何をやろうとしているのか各懇談会委員に伝わっていなかった。時々情報を目にするが、結果がイベント開催だったので、サポートしようにもどうすれば良いか分からなかった。
- ・事前の会議ではいろんな意見が出て、希望にみちていましたが、結果コロナとの戦いが一番で、コロナに負けてしまいました。
- ・ビーチバレーコートは本番で活躍できなかったが、子供たちをコートに入れ遊ばせてもらい、区民のオリンピックムードを大きく掻き立ててくれました。地元活性化を目的とし杉並の新しいお土産「なみすけのすぎばん」が完成、これも立派なレガシーだと思います。ただ、パンというよりもフィナンセと銘打った方が良いと思います。味はとても良いので。
- ・全委員さんより今回始めて携わりましたので判りません。
- ・全体的にチープなのと、そもそも人数制限などがあり、情報発信ができなかったと思う。
- ・スポーツとして、日本での認知度の低い「クリケット」を取り上げたことは、杉並区の先進性・グローバル化を表現する上で最適だったと思う。この新しい取り組みに係れたことに、委員メンバー・日本クリケット協会関係者・区側関係者に感謝する。

10. 今回大会での取組や反省点を今後どのように区政に反映していくべきか、ご意見をお聞かせください。

- ・反省点を改善してもオリンピックは次があるかは不明です。未来志向で別のイベントやレガシーの今後の活用に向けた反映の手法として、4つのテーマで議論し、地域を巻き込んだ機会を作っていくのが行政しか出来ない事だと考えます。
- ・活動をより区の方々に知っていただけるとよいと思いました。
- ・「心のバリアフリー」というワードは、とても印象に残っています。パラリンピック観戦（有観客にするか？）の議論がされる中、“教育になる”に私は少々ショックを受けました。弱者である、かわいそう、差別されている、そう感じました。しかし現実だとも感じております。男・女と種別が分けられているようなものであり、得意・不得意なことで、同じ人間同士助け合える社会であって欲しいと願います。困難なことを乗り越える、卓越した精神力は、オリ・パラも一緒という理解が深まると同時に、どなたかが仰っていた「バスや電車」で優先席が特別になくとも周りを見られる思いやりのあふれる街になったらうれしいです。できたら杉並発信できたら良いですね。子供を育てるには、杉並かなと決めていましたが、ママチャリを押していたとき、ぶつかられたり、外国人の女性を叩く方を目撃したことがあります（いずれも男性）コロナ禍でより不安定な精神状態の方がいらっしやると思いますが、悲しい事がない、杉並愛が高まることを祈ります。
- ・インターネット、オンラインを活用したイベント実施につなげ、子どもたちが参加できる環境づくりを期待したい。
- ・長期間に渡る区民指導の取組であり、各実行委員会に事業の主導を任せるのは良い。実行委員会に属していない懇談会委員達がほとんど関わっていなかつたので、懇談会から気持ちに離れていったと思う。その人達からもどう関わってもらおうのか考えて、継続して加わってもらおう仕掛けが必要だったと思う。
- ・コロナ前までは順調な委員会でしたが、今まで経験したことのない予想できない中でとりあえずオリンピックが開催された、無事に終わったという“安堵感”だけが今の気持ちです。
- ・コロナという世界中に制約の掛かったなか、よく対策し終えたというのが強い思いです。今まで世界の皆が経験したことのない無観客もしくは入場制限など日本だからできたと思っています。こんな状況でなければ街中にも選手や観光客とのふれあい、おもてなしが出来たと残念です。テレビだけの応援！！家の中では盛り上がっていましたが。
- ・緊急事態宣言下の中、やれることは限られていると思うが、行政からの情報発信の方法は改めて検討する必要がある。既存の広報誌等は、若年世代は全く見ていない。紙チラシも同様。
- ・今までの取組は、区側のサポート前提であったが「クリケット」としてひとつの基点ができたと思う。今後この基点を面に広げる活動が必要で、それには活動を自主的に動き、継続性のある組織活動が求められる。また、区のスポーツに係る組織（行政、施設）のより良い協力を得るために積極的な提案が必要と思っている。「クリケット」関係者を増やし、少しずつ体制を整え、活動を具体化したい。

**杉並区における東京 2020 オリンピック・  
パラリンピック競技大会に向けた懇談会の取組**

杉並区における東京 2020 オリンピック・  
パラリンピック競技大会に向けた懇談会

令和3年12月

杉並区 区民生活部 文化・交流課  
オリンピック・パラリンピック連携推進担当